



きよさとっ子

育みたい「自慢」と「自信」

校長 遠藤 哲也

先月、小雨がぱらつく中、なかよし遠足を行いました。この遠足は、アイデアと思いやりの気持ち、協力的な人間関係を育みながら、校区内の自然や施設等を回り、1年生から6年生8～9人で複数のミッションに挑戦します。

さて、そのミッションの一つに、「清里小学校の自慢を大きな声で答えましょう（相談なし）。」がありました。皆さんは、子どもたちが考える清里小学校の1番の「自慢」は何か、予想できますか。

第1位 『仲良し(みんな・全校)』 答えた人数 20人

他を答えた子どもも、「それもあるよね。」と、「みんなが仲良し」に大きくうなずいていました。



「自慢」とは、自分で、自分に関係の深い物事を褒めて、他人に誇ることです。ただし、自分の自慢話ばかりをすると、人から疎まれかねません。清里小学校の子どもたちは、仲間との関係を深め、その仲間に対する誇りを抱いているのです。このようなすてきな子どもたちが、清里小学校の本当の「自慢」であると、私は感じています。

このすてきな「自慢」の子どもたちの心を育て、力を伸ばすために、さらに「自信」をつけたいと考えます。頑張っていることや挑戦していることに対して、成長のスピードや成果の大きさは様々です。その中で、子どもたちの「自信」を育むためには、大人の価値観で測るのではなく、一人一人の姿をよく見つけ、どんなわずかな成長に対しても褒めること。人から褒められるということは、言動や取組が認められることにより、自分自身を信ずる心、大切にする心につながるからです。

特に、本人がめあてとして取り組んだお手伝いや家庭学習、運動など、継続した取組については、大いに褒めていきながら、今後も継続させていきたいものです。この「自信」は、さらなる意欲と発展、そして新たな取組への大きなエネルギーになります。

10月28日（土）には、「清里っ子かがやきフェスタ」が行われます。今、自分たちが取り組んでいる学年の「自慢」と、自分たちが取り組んでいることに対する「自信」を、保護者や地域の皆様にお伝えできる素晴らしい機会と考えています。3年ぶりに制限なしの学習発表会となりますので、ぜひ多くの皆様からのご来場をお待ちしております。

そして、お子さんの発表の姿や取組に対して、「〇〇ができるようになってすごだね」「〇〇となることを楽しみにしているよ」と大いに褒めて、さらなる「自信」を育んで頂ければ幸いです。



9月、10月前半のトピック

9/13 星のふるさと館

4年生は、「月や星の動き」の学習を深めるため、星のふるさと館へ行ってきました。天体望遠鏡で金星を観測したり、プラネタリウムで月や星の動きを学んだりして天体への興味・関心を高め、理解を深めることができました。



9/19 ヤギさん入学式

待ちに待ったヤギさんが学校に到着すると、みんなで校歌を歌いながら、温かく迎えた1年生。質問タイムやふれあいタイムを通して、これから始まるヤギさんとの生活に期待を膨らませました。いつでも会いに来てください。



9/27～28 自然教室

4・5年生が妙高青少年自然の家に一泊して源流体験、キャンプファイヤー、妙高アドベンチャーと、自然や仲間と存分に関わってきました。チームワークを発揮し自然に親しむ姿、仲間を思いやる姿が見られた充実の2日間でした。



10/3 栗拾い

生活科「秋探し」の学習で、学校近くの堀川さんの土地で栗拾いをさせていただいた2年生。両足を使ってイガから栗を出すお手本を見せてもらい、さっそく挑戦。

みんなで仲良く、たくさんの栗を拾い、秋のひとときを満喫しました。



10/4 親善陸上大会

6年生が体育学習の成果を発揮して他校の6年生と競い合いました。全力で競技する姿はとてもしっかり、当日は自己記録の更新が見られました。また、頑張る友達をサポートする姿、一生懸命に声援を送る姿もとても立派でした。



10/11 持久走記録会

自分のペースを見付ける、風景を楽しむ、友達と励まし合うなど心地よさを感じられるように取り組んできた持久走。大勢の応援によりゴールを後押ししていただき全員無事に走り抜くことができました。ありがとうございました。



第2回学校運営協議会 9月27日

清里小学校単独での学校運営協議会を開催しました。子どもたちの学習を参観していただいた後に協議会を行いました。各委員から、教育活動への助言や提案があり、たいへん有意義な熟議が展開されました。頂いたご意見を今後の教育活動の改善・発展に生かしていきます。

- デジタルとアナログのバランスを大切にしながら、今後も学年に応じた指導を継続し、「考えることが楽しい」姿をめざすことが大切。
- 学校・家庭・地域の中で、子どもが自分の役割を果たす経験を積み重ねていくことで、自己肯定感を高め、将来に向けて目標を立て自信をもって行動する子の育成が肝要。
- 地域でのダイナミック体験を通して、子どもたちが地域を知る、地域のことを考える、地域を愛する姿を目指すことが重要。
- 家庭学習、生活習慣など、家庭と保・小・中の連携および情報発信の充実。



HP
随時
更新
中